

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.614

竹の子会総務委員会

令和3年11月11日

66期がスタートして



会長

名和 良能

皆様こんにちは。第66期会長の名和です。今年の7月より「問い続ける ～現在を見つめ 志す未来へ～」をスローガンとして掲げ第66期がスタート致しましたが、特別会員の皆様におかれましては、7月21日に開催しました総会懇親会の際には、多大なるご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

ございました。

新型コロナウイルス感染症の第5波の影響で緊急事態宣言が発令されたことにより8月度例会（交通遺児夏のつどい）、9月度例会（講師例会）、10月度例会（十万石ふるさとまつり）は、中止とせざるを得ず、新入会員の皆様には事業中止が続き大変申し訳なく思っております。しかし、対面での活動ができない中でも、「オンライン」という新たな手段を積極的に採用し、皆で知恵を出し合い活動できたことは、確実に成長の機会に繋がったと感じております。

今後も新型コロナウイルス感染症との共存が続いていく中で、活動そのものを変化させていくことは

私達若い世代だからできることです。現在直面している、新型コロナウイルス感染症の時代を経験した今だからこそ、これまでの価値感に捉われることなく今の時代をチャンスと捉え、会員の皆様と共に今出来ることを考え、皆様と共に成長できるよう活動していかなければならないと考えております。

私達、青年団体の取り巻く環境は、年々厳しい状況となっており、この大垣竹の子会を存続させるために、会員の増員が最重要課題の1つであると考えております。この課題に立ち向かうため、「インスタグラムアカウント作成や、SNS等を利用し本会のPR体制の強化」や、「役員会議などを活用した新規会員獲得に向けた情報共有」など、会員数増加のための仕組みを積極的に行っております。特別会員の皆様におかれましても、もし身近に新入会員の候補となる方がお見えになりましたら、是非ご紹介いただきたいと思います。

最後になりますが、第66期まだまだ続いていきます。次の期に最高の形でバトンタッチできるよう、誠心誠意努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



第86回 交通遺児チャリティーゴルフ

令和3年10月7日（木） 大垣カントリークラブ



奉仕委員会
委員長
中尾 有策

皆様こんにちは。第66期奉仕委員長の中尾です。

去る令和3年10月7日（木）『第86回交通遺児チャリティーゴルフ』が開催されました。特別会員の皆様、現役会員の皆様、大変お忙しい中ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響でパーティーや花売り等は中止でしたが、マスクの着用など感染拡大防止を徹底し、実施することができました。開催当日の朝方は少し天気が心配されましたが、最後まで楽しくプレーをすることが出来ました。

自分自身も今回の交通遺児チャリティーゴルフが4回目の参加となりましたが、例会だけでなく、こういった機会を通じて会員と親睦を深められることは非常に良い事だと思います。ゴルフに限らず、色々な形で会員同士が交流を深める機会があれば積極的に参加したいと思います。

交通遺児チャリティーゴルフは、竹の子会だけでなく、多くの企業やボランティア団体も参加され交通遺児支援活動にご協力いただいております。交通

遺児チャリティーゴルフをはじめ、いろんな活動や支援が交通遺児の子供達を支える事に繋がっている重要な奉仕活動だと思います。今後もより一層多くの方々にご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

そして、12月に開催予定である「交通遺児クリスマス会」には、たくさんの交通遺児ご家族に参加していただきたいと思っております。そして参加されたご家族に満足していただけるように奉仕委員会で企画、運営をしてみたいと思います。

最後になりますが、コロナ禍でいろんな事業が中止や延期される中、今回第86回交通遺児チャリティーゴルフが開催され参加出来たこと、そして多くの方々に参加していただきましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

来年4月には、第87回交通遺児チャリティーゴルフが開催される予定ですので、その際にはご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



みこし製作事業

令和3年10月10日(日) 青年の家



大垣市
青年のつどい協議会
副会長
小島 裕則

皆様、こんにちは。今期、大垣市青年のつどい協議会に出向、第50期大垣市青年のつどい協議会副会長を務めております、第60期入会小島裕則です

去る令和3年10月10日(日)大垣市青年の家において「みこし製作事業」を行いました。当日、参加していただいた会員の皆様、協力していただいた渉外委員会の皆様、また様々な形で協力いただいた実行委員会の皆様、多くの人のご協力のおかげで、無事に事業を終えた事を深く感謝申し上げます。今年も去年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、十万石ふるさとまつりは中止。加盟団体の皆様と共にみこしを担ぎ、沿道を練り歩きながら、親睦を深める事はできませんでした。しかし、実行委員会で話し合い、コロナ禍に出来る事業を考え、大垣市青年のつどい協議会で、みこしを製作する事にしました。

初めての事業の為、戸惑い、多くの方にご迷惑をお掛けしました。新しいことを行うためには多大な工夫をしなくては成功しないということ。コロナ禍だからこそ、慎重に物事を考えなくては、例年通りにはいきません。こんな時代だからこそ、実行委員

会メンバーで試行錯誤し、準備をして参りました。

“「～集い高まる明日へ～」一人の力は微力だが集まれば強力なり。”をテーマに掲げ、少しでも多くの方に参加していただける様に、感染拡大予防を考慮し、消毒、検温、事前の体調などの確認を取り、万全の体制で当日に挑みました。

しかし、何か見落としていることはないか、参加者が彫刻刀で怪我をしないか、多くのメンバーに参加していただけるのだろうかなど、不安ばかり頭をよぎり、前日は眠る事が出来ませんでした。

当日、参加者の皆様には、みこしの屋根の瓦となる板一枚一枚に文字やロゴを彫刻刀で掘っていただきました。自分の名前、会社のロゴ、想いのある漢字、何にしようかと悩みながら掘る姿はとても素晴らしいものでした。自分の掘った瓦をみこしまで持っていき、当日参加いただいた皆様の瓦がみこしに取り付けられ、ようやくみこしが完成。完成したみこしを、皆様にお披露目させていただいた時に、盛大な歓声をいただき、とても感動しました。

最後になりますが、自分にとってかけがえのない経験をさせていただきました。名和会長、蒲田つどい会長、本当にありがとうございました。また、会員、実行委員会の皆様、多くの皆様に支えられ、素晴らしい事業を行う事ができました。ありがとうございました。





渉外委員会
委員長
久保田 吉則

皆様こんにちは。第66期渉外委員長を務めさせていただいております、第64期入会、久保田吉則です。去る10月10日（日）に大垣市青年の家において、第48回十万石ふるさとまつり（みこし製作事業）が行われました。会員の皆様には、お忙しい中、多数のご参加ご協力いただき感謝申し上げます。このような世界の状況の中で、事業を行う事ができて、とても良かったと思います。例年とは違う形での内容でしたが、無事、事業を行えた事を嬉しく思います。今回、小島裕則君が十万石ふるさとまつりの実行委員長として、僕が事務局長として、御役をいただいております。今回の事業は、小島実行委員長が大工職人ということもあり、十万石ふるさとまつりが中止になったとしても、みこしをみんなで製作すれば何かしらの思い出に残せると、小島実行委員長の熱い思いのもとにスタートいたしました。大工職人といっても、みこしを1から製作することはかなりのプレッシャーだったと思います。材料の仕入れから、加工、設計、事業を成功させるためにとてつもない時間をみんなのために使ってくださいました。そして、大垣市青年のつどい協議会蒲田会長をはじめ、第48回十万石ふるさとまつり実行委員会メンバーの方々、大垣竹の子会の方々にご

協力していただき、無事当日を迎えられました。ありがとうございます。

僕自身、今回の事業を通して感じた事は、自分自身が何か御役をいただいたのであれば、自覚をもって行動しようと思いました。今回、僕は渉外委員長でもあり、十万石ふるさとまつりの事務局長という立場でもありました。振り返ってみると自分の中で何も貢献できていない自分がいました。どうしても仕事が優先になってしまい、事業の約束をも守れないときもありました。自分の中での優先順位に従い、行動していました。しかし、御役をいただいた以上は自分の行動によって、周りにいるみんなにも迷惑や負担がかかる事を感じました。忙しい。この一言には色んな意味が含まれていると思います。

仕事、人間関係、家庭、一人ひとりによって状況は異なりますが、本当に大変な方もおみえになると思います。しかし、その中でも立派に活動してみえる方もいます。人は何かのせいにしだしたら、きりが無いと思います。その中でみんなのために自分にできる事はないだろうかと深く深く考え行動していくべきだと感じました。大垣竹の子会に入会させていただき人生において、とても良い経験をさせていただきました。今回はお忙しい中、ご参加、ご協力いただき、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。



11 12 月の予定



11月度例会(家族親睦会)

令和3年11月21日（日）
月夜谷ふれあいの里

12月度例会(交通遺児クリスマス会)

令和3年12月5日（日）
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン